

県本部・活動拠点本部会議（8月23日・夕）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- ・ 介護保険料利用料減免リーフレットの周知：住宅の全壊・半壊等を対象とした介護保険料等の減免に関する案内データは、ポータルサイト上に掲載し、各拠点は適宜取得・印刷のうえ、罹災証明書等で対象と確認できた被災者へ案内・配布を行う
- ・ 共同通信社による報道取材の受入体制：25日 13:00～、氷川町公民館にて取材対応を実施（氷川拠点の日下部氏および当該公民館を担当する DWAT チームが対応）。なお、避難所内の個人居住スペースの撮影は NG、インタビューを行う場合は、避難者本人の許諾を得た上で、居住スペースが映り込まない場所・角度で実施することが条件。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 本部

- ・ 報道取材対応：氷川町との事前確認結果を報告。プライバシー保護徹底での取材調整完了
- ・ 受入施設アンケートの実施：県の高齢者支援課および認知課にて、福祉避難所となり得る施設、空きベッド状況、職員配置等のアンケート調査を実施中。八代拠点が収集した地域情報と突き合わせて情報共有を図る予定

● 八代地域

- ・ 巡回・要支援者調査：一般避難所の巡回および避難行動要支援者調査を実施中。浮き彫りになった課題・案件は障害福祉課へ報告予定
- ・ 避難所支援：八代市総合体育館（アリーナ）での入浴介助運営・健康相談を継続
- ・ ボランティアセンター連携：電話連携によるボランティア受付・派遣ルートを開拓。
- ・ 「すずらんの里」視察
 - ・ 現在未使用の通所スペース（大浴室・キッチン・ホール・個室等）は人員が確保でき次第、直ちに福祉避難所等として活用可能
 - ・ 2階フロアの認知症デイサービススペースも利用許可を取得済み

● 宇城地域

- ・ 松橋西、松橋東、小川防災、小川中学校の4か所の避難所を巡回調査
- ・ 個別課題・ケースの発生
 - ・ 自宅全壊・居住不能となり県外親族等への引き取り話が出ているが、本人が地元を離れることを拒否しているケースあり。
 - ・ 賃貸物件の大家側の判断待ちで、今後の住まいが見通せないケースあり。
- ・ DWAT 体制・担当制の導入：従来の一律巡回から、各派遣県の DWAT チームごとに担当避難所を割り振る体制へ。3日に1回等の定期協議を行い、個別ケースを継続フォローする仕組みへ移行

- ・ Kintone 運用開始：本日より Kintone への情報入力・データ運用を開始

● 氷川地域

- ・ 一般避難所支援：引き続きアセスメントを実施。移動・引っ越しに向けた荷づくり支援や精神的ケア・不安解消に対応
- ・ 福祉避難所支援：移転対象者への個別説明・面談および環境整備に向けた準備を実施
- ・ 情報一元化のため入力していた Kintone データについて、入力箇所（データの格納先）の間違いが判明し反映されていなかったことが発覚したため、引っ越し支援と並行して再入力作業を進行中。

● 全体

- ・ 「子どもの心のケア」に関する情報や「精神科病床の空き状況」などの各種情報を共有完了

■ 共有事項・確認事項

● DWAT 各県チームの活動期間

- ・ 9 月初旬で派遣期間が終了（撤収）となる県 DWAT チームが存在する。今後の引き継ぎや担当配置に注意が必要。

● 派遣職員の宿泊場所

- ・ 「すずらんの里」等を福祉避難所として活用・派遣拡大していく際、派遣スタッフの宿泊場所の確保・詰めの協議が引き続き必要

● 避難所での訪問看護利用

- ・ 避難所移動前に訪問介護・看護を利用していた被災者が、避難所内で継続利用している事例（氷川等で過去に 1 件対応実績あり）の有無を確認

■ 今後検討が必要な事項

● 避難所再編に伴う福祉避難所・受け皿の整備

- ・ 行政による一般避難所の集約・縮小（閉鎖）にあわせ、円滑に移行できるよう、人員確保・派遣体制および宿泊場所等の詰めの協議を進めることが必要。

● 個別困難ケースへの継続支援と住まいの確保

- ・ 地元離脱を拒否する単身高齢者、通水待ち被災者、家主の意向未定により行き先が確定しない被災者等、複雑な事情を抱える個別ケースに対する中長期的なフォロー体制・支援機関連携を構築することが必要。